

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-298314

(43)Date of publication of application : 12.11.1993

(51)Int.Cl.

G06F 15/20

G06F 3/14

G06F 15/20

(21)Application number : 04-102962

(71)Applicant : SHARP CORP

(22)Date of filing : 22.04.1992

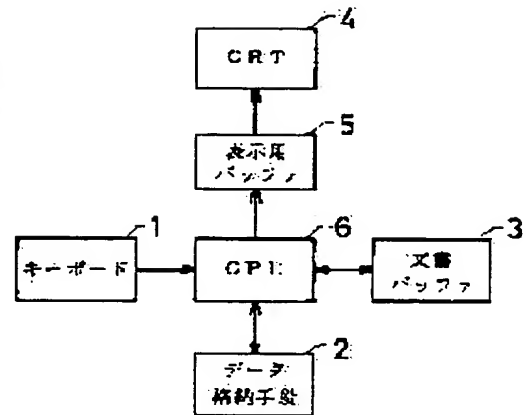
(72)Inventor : OGAWA TAKAYUKI
INOUE KATSUMI
IDA SACHIKO

(54) DOCUMENT PREPARATION DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent a formed document from being changed from its original meaning or improperly connecting sentences and to improve the efficiency of document formation in a document forming device for forming documents by selecting answers for a series of questions.

CONSTITUTION: The document forming device is constituted so that documents are successively formed in each selection of an answer by a keyboard 1, and selection of question and answer and document in forming are displayed in respective corresponding windows of a CRT 4, and at the time of depressing a change key on the keyboard 1, the preceding question and answer selection are restored to reselect an answer and correct the document concerned. Since an answer to the succeeding question can be selected while checking successively formed documents, the documents can be corrected before the end of a series of all questions.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.01.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 05.09.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-298314

(43)公開日 平成5年(1993)11月12日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 6 F 15/20
3/14
15/20

識別記号

5 8 6 A 7343-5L
3 5 0 A 7165-5B
5 5 8 7343-5L

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数4(全 8 頁)

(21)出願番号 特願平4-102962

(22)出願日 平成4年(1992)4月22日

(71)出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72)発明者 小川 孝行

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ
ャープ株式会社内

(72)発明者 井上 克己

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ
ャープ株式会社内

(72)発明者 飯田 幸子

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ
ャープ株式会社内

(74)代理人 弁理士 岡田 和秀

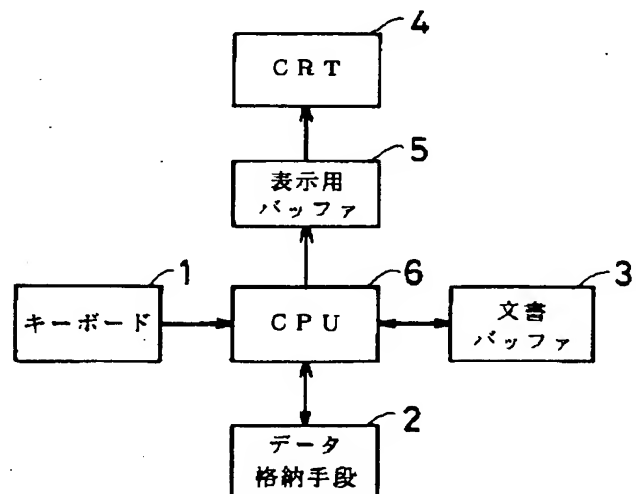
(54)【発明の名称】 文書作成装置

(57)【要約】

【目的】一連の質問に対する回答を選択することにより、文書が作成される文書作成装置において、作成された文書が当初の趣旨と異なったものとなったり、文章のつながりがおかしくなったりするのを防ぎ、文書作成の効率を高めることを目的とする。

【構成】キーボード1で回答を選択する度に、文書が順次作成され、CRT4には、質問、回答選択肢および作成中の文書が、対応する各ウインドに表示されるように構成しており、さらに、キーボード1の変更キーを操作することにより、前回の質問および回答選択肢に戻って回答を選択し直して文書を訂正できるようにしている。

【効果】順次作成される文書を確認しながら次の質問に対する回答を選択でき、一連の総ての質問が終了する以前に文書を訂正できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 文書作成に必要な複数の項目についての質問および質問に対応した回答選択肢のデータを含む文書データが、文書の目的別に格納されているデータ格納手段と、

作成しようとする文書の目的に応じて前記文書データを選択するとともに、前記回答選択肢から回答を選択するために操作される入力手段と、

入力手段で回答が選択される度に、選択された回答およびデータ格納手段の文書データに基づいて、順次文書を作成する作成手段と、

表示画面を、質問ウインド、回答選択肢ウインドおよび作成文書ウインドの各ウインドに分割して前記質問、前記回答選択肢および作成されている文書を表示する表示手段と、

を備えることを特徴とする文書作成装置。

【請求項2】 前記入力手段は、既に回答した項目についての該回答を変更するために操作される変更キーを有し、

前記表示手段は、変更キーの操作に応答して、前回の質問および回答選択肢に戻って再び表示し、

前記作成手段は、再び表示された回答選択肢の中から選択された回答および文書データに基づいて、作成されている文書を訂正する前記請求項第1項に記載の文書作成装置。

【請求項3】 前記入力手段は、前記複数の項目についてのすべての質問および回答が終了する前に、文書の作成を中止するために操作される中止キーを有し、

前記作成手段は、前記中止キーの操作に応答し、それまでに作成された文書を、前記複数の項目についてのすべての質問および回答が終了した有効な文書とする前記請求項第1項または第2項に記載の文書作成装置。

【請求項4】 前記入力手段は、質問に対する回答として文字入力を行うための文字入力キーを有し、

前記表示手段は、質問に対する文字入力キーの操作に回答して表示画面に文字入力ウインドを開いて文字入力の内容を表示する前記請求項第1項ないし第3項のいずれかに記載の文書作成装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、ワードプロセッサやパーソナルコンピュータなどの文書作成装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、ワードプロセッサには、いわゆる代筆ソフトが搭載されたものがある。この代筆ソフトでは、例えば、お知らせ、お礼、お祝いなど目的別の文書データを選択すると、図7に示されるように、文書作成に必要な項目についての質問、例えば、「季節はどれにしますか」が表示されるとともに、その質問に対応した回答選択肢、例えば、「早春の候、いよいよご清栄のこ

ととお慶び申し上げます。」などが表示され、回答を選択すると、図8に示されるように、次の質問、例えば、「今回の転居は何のためですか」が表示されるとともに、回答選択肢、例えば、「転勤のため」などが表示され、回答を選択すると、順次、質問および回答が表示される。

【0003】 そして、文書作成に必要な複数の項目の一連の質問に対する回答が終了した後に、文書が作成されて図9に示されるように表示されるものである。

【0004】 文書作成者は、この作成された文書を校正することにより、最終的に文書を完成させるものである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、このような従来例のワードプロセッサでは、一連の質問に回答した後でなければ、文書が作成表示されないで、一連の質問の途中においては、文書作成者は、どのような文書になるのかを知ることができず、このため、一連の質問に回答した後に作成された文書が、当初の趣旨とは異なった文書となっていたり、文章のつながりがおかしくなったりすることがあった。

【0006】 また、文書の訂正も、一連の質問に回答して文書が作成された後でなければ行うことができず、効率の悪いものであった。

【0007】 本発明は、上述の点に鑑みて為されたものであって、一連の質問の途中でであっても作成されている文書の内容を知ることができるようにし、さらに、文書の訂正も行えるようにすることを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明では、上述の目的を達成するために、次のように構成している。

【0009】 すなわち、請求項第1項に記載の本発明は、文書作成に必要な複数の項目についての質問および質問に対応した回答選択肢のデータを含む文書データが、文書の目的別に格納されているデータ格納手段と、作成しようとする文書の目的に応じて前記文書データを選択するとともに、前記回答選択肢から回答を選択するために操作される入力手段と、入力手段で回答が選択される度に、選択された回答およびデータ格納手段の文書データに基づいて、順次文書を作成する作成手段と、表示画面を、質問ウインド、回答選択肢ウインドおよび作成文書ウインドの各ウインドに分割して前記質問、前記回答選択肢および作成されている文書を表示する表示手段とを備えている。

【0010】 また、請求項第2項に記載の本発明は、請求項第1項に記載の文書作成装置の入力手段が、既に回答した項目についての該回答を変更するために操作される変更キーを有し、前記表示手段は、変更キーの操作に回答して、前回の質問および回答選択肢に戻って再び表示し、前記作成手段は、再び表示された回答選択肢の中

から選択された回答および文書データに基づいて、作成されている文書を訂正するようにしている。

【0011】

【作用】請求項第1項記載の本発明によれば、回答が選択される度に、文書が順次作成され、表示画面には、質問、回答選択肢および作成中の文書が、対応する各ウインドに表示されるので、順次作成される文書を確認しながら次の質問に対する回答を選択できることになり、一連の質問に対する回答が終了した後の文書が当初の趣旨に沿わないといったことがない。

【0012】請求項第2項記載の本発明によれば、入力手段の変更キーを操作することにより、前回の項目についての質問および回答選択肢に戻って回答を選択し直して文書を訂正できるので、文書作成の効率が向上する。

【0013】

【実施例】以下、図面によって本発明の実施例について、詳細に説明する。

【0014】図1は、本発明の一実施例の構成図であり、同図において、1は文字の入力や文書データの選択などに用いられる入力手段としてのキーボード、2は文書作成に必要な複数の項目についての質問および回答選択肢のデータを含む文書データが格納されているデータ格納手段、3は編集された文書などを格納する文書バッファ、4は質問や回答選択肢などを表示するCRT、5はCRT4に表示するデータを一時的に格納する表示用バッファ、6は各部を制御して文書の作成や表示制御を行うCPUである。

【0015】データ格納手段2には、例えば、お知らせ、お礼、お祝いなど目的別に、文書作成に必要な項目についての質問および質問に対応した回答選択肢のデータを含む文書データが格納されている。

【0016】入力手段としてのキーボード1は、文書データや回答選択肢の回答を選択するために操作されるとともに、回答を直接文字入力するために操作されるものである。さらに、この実施例では、キーボード1には、既に回答した項目についての該回答を変更するために操作される変更キーが備えられている。

【0017】CRT4、表示用バッファ5およびCPU6から構成される表示手段は、CRT4の表示画面を、質問ウインド、回答選択肢ウインドおよび作成文書ウインドの各ウインドに分割して質問、回答選択肢および作成されている文書を同時に表示する。この表示手段は、キーボード1の変更キーの操作に応答して、前回の質問および回答選択肢に戻って再び表示する。

【0018】文書バッファ3およびCPU6から構成される作成手段は、キーボード1で回答が選択される度に、選択された回答およびデータ格納手段2の文書データに基づいて、順次文書を作成するものである。この作成手段は、キーボード1の変更キーの操作に応答して再び表示された回答選択肢の中から選択された回答および

文書データに基づいて、作成されている文書を訂正するものである。

【0019】次に、上記構成を有する文書作成装置の動作を、図2に示されるフローチャートに従って説明する。

【0020】文書作成者は、キーボード1を操作することにより、まず作成したい文書をお知らせ、お礼、お祝いなどの目的別に格納されている幾つかの文書データの中から選択する（ステップS1）。

【0021】ステップS2では、選択された文書データについてのすべての質問が終了したか否かを判断し、終了していないときには、文書作成に必要な項目、例えば、季語、転居の理由などについての質問、例えば、

「今回の転居は何のためですか」を質問ウインド7に図3に示されるように表示し（ステップS3）、その質問に対応する回答選択肢、例えば、「転勤のため、仕事の都合、文字入力（その他）」を回答選択肢ウインド8に図3に示されるように表示し（ステップS4）、キーボード1の変更キーが操作されたか否かを判断する（ステップS5）。

【0022】変更キーが操作されていないときには、文書作成者によって回答選択肢の中から回答が選択されたか否かを判断し（ステップS6）、回答が選択されたときには、文字入力であるか否かを判断し（ステップS7）、文字入力でないときには、選択された回答に基づいて、文書を作成し、図3に示されるように、その文書を作成文書ウインド9に表示し（ステップS8）、次の質問およびその質問に対応した回答選択肢のデータをセットし（ステップS9）、ステップS2に戻る。また、ステップS5において、変更キーが操作されたと判断したときには、前回の質問およびその質問に対応した回答選択肢のデータがセットされ（ステップS10）、ステップS3に移る。したがって、前回選択した回答を選択し直すことができ、作成途中で文書の訂正を行うことができる。

【0023】さらに、ステップS7において、キーボード1から文字の入力があつたと判断したときには、図4に示されるように文字入力ウインド10を開き（ステップS12）、文字入力待ちの状態とし（ステップS13）、文字入力が終了したか否かを判断し（ステップS14）、終了したときには、ステップS8に移り、文字入力による回答に基づいて、文書を作成して表示するものである。

【0024】なお、ステップS2において、すべての質問が終了したと判断されたときには、文書が確定されて文書バッファ3に格納される（ステップS11）。

【0025】このようにして、質問、回答選択肢および作成されている文書が、同一の表示画面に表示されるので、文書作成者は、回答を選択する度に、順次作成されていく文書の内容を確認しながら次の質問に対して回答

することができ、総ての質問が終了して作成された文書が、当初の趣旨と異なった文書になったり、文章のつながりがおかしくなったりすることがない。

【0026】さらに、変更キーを操作することにより、前回の質問および回答選択肢に戻って回答を選択し直すことにより、文書の訂正を行うことができるので、一連の質問に回答して文書が作成された後でなければ訂正を行えない従来例に比べて文書の作成を効率的に行えることが可能となる。

【0027】図5は、本発明の他の実施例の図2に対応するフローチャートであり、対応するステップには同一の符号を付す。

【0028】この実施例の文書作成装置の構成も、上述の実施例と同様であるが、この実施例では、入力手段としてのキーボード1は、一連の質問および回答が終了する前に、文書の作成を中止するために操作される中止キーを有しており、作成手段は、中止キーの操作に应答し、それまでに作成された文書を、一連の質問および回答が終了した有効な文書とするものである。

【0029】すなわち、ステップS5で変更キーが操作されたか否かを判断した後、中止キーが操作されたか否かを判断し（ステップS15）、中止キーが操作されたと判断したときには、それまでに作成された文書を有効なものとして文書を確定して文書バッファに格納し（ステップS11）、終了する。

【0030】また、ステップS6において、回答が選択されていないと判断したときには、図6に示されるように、回答選択肢が文字入力だけであるか否かを判断し（ステップS16）、選択肢が文字入力だけであるときには、文字入力ウインドを開くようにしている。

【0031】その他の構成は、上述の実施例と同様である。

【0032】この実施例では、一連の質問が終了する途中でであっても、中止キーを操作することによって、それまでの文書を有効なものにできるので、文書作成者が必要とする段階、例えば、時候の挨拶まで文書が作成され

たところで中止し、以後は自ら直接作成できることになり、便利である。

【0033】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、文書を作成するのに必要な項目についての質問、回答選択肢および作成されている文書が、同一の表示画面に表示されるので、文書作成者は、回答を選択する度に、順次作成されていく文書の内容を確認しながら次の質問に対して回答することができ、作成された文書が、当初の趣旨と異なった文書になったり、文章のつながりがおかしくなったりすることがない。

【0034】さらに、変更キーを操作することにより、前回の質問および回答選択肢に戻って回答を選択し直すことにより、文書の訂正を行うことができるので、文書の作成を効率的に行えることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の概略構成を示すブロック図である。

【図2】図1の実施例の動作説明に供するフローチャートである。

【図3】画面の表示例を示す図である。

【図4】画面の表示例を示す図である。

【図5】本発明の他の実施例の動作説明に供するフローチャートである。

【図6】回答選択肢ウインドの表示例を示す図である。

【図7】従来例の画面の表示例を示す図である。

【図8】従来例の画面の表示例を示す図である。

【図9】従来例の画面の表示例を示す図である。

【符号の説明】

1	キーボード
2	データ格納手段
4	CRT
6	CPU
7	質問ウインド
8	回答選択肢ウインド
9	文書作成ウインド

【図6】

◆◆回答選択肢ウインド◆◆

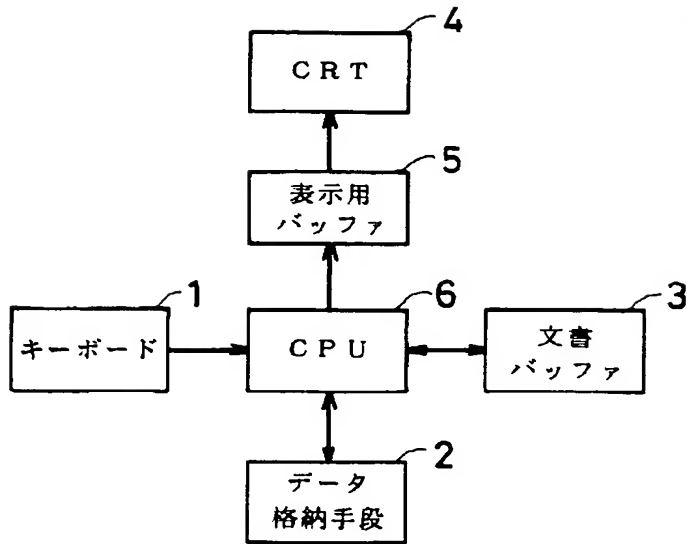
⇒文字入力(その他)

【図7】

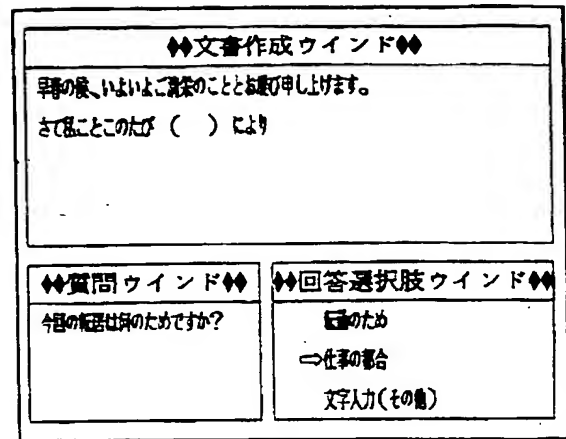
◆◆◆◆ 季語はどれにしますか ◆◆◆◆

⇒早春の候、いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。
 早春の候、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 早春の候、貴社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。
 春寒の候、益々ご清祥の趣お慶び申し上げます。

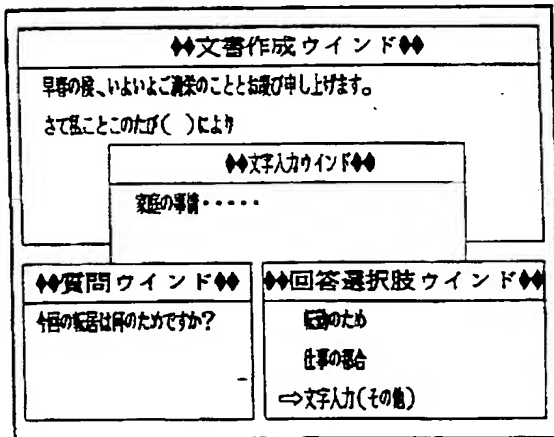
【図1】



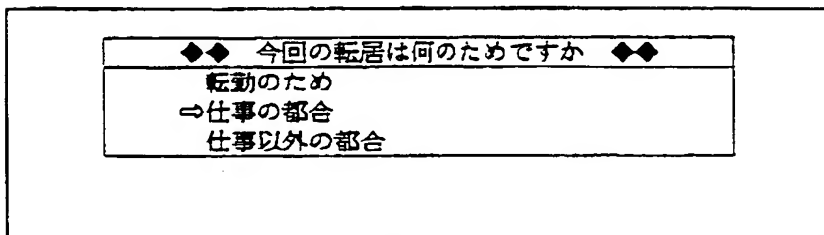
【図3】



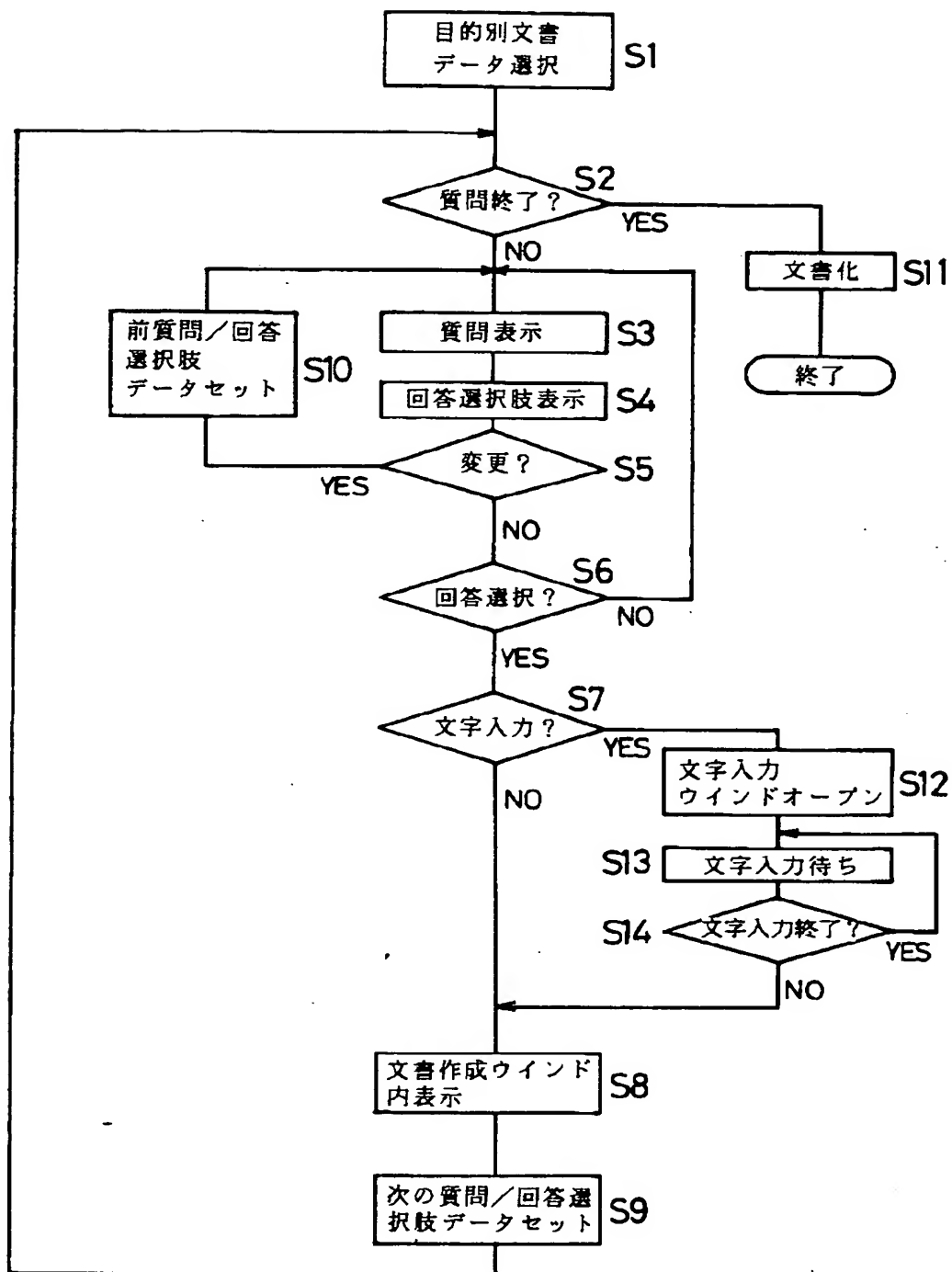
【図4】



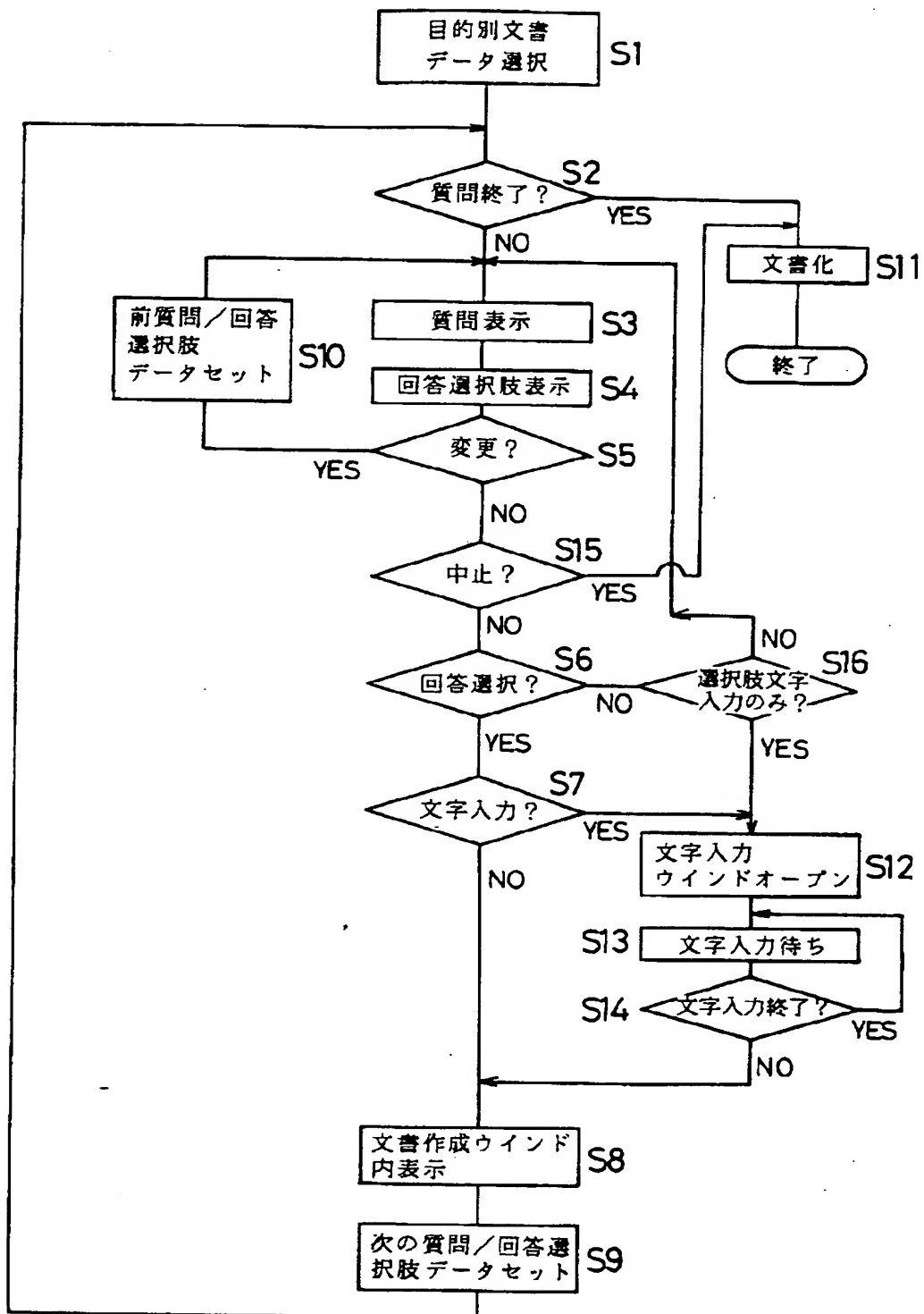
【図8】



【図2】



【図5】



【図9】

早春の候、いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて私ことこのたび仕事の都合により下記住所へ移転いたしましたのでお知らせ申し上げます。
お近くにお越しの節はぜひお立ち寄りくださいますようお願いいたします。
今後ともよろしくお願いいたします。